

令和6年10月17日

お知らせ

	後楽園事務所	岡山県 郷土文化財団
担当	藤上・真柴	西中・植田
内線	4386	
電話	086-272-1148	

岡山後楽園「タンチョウの園内散策」を行います ～名園の中で優美な姿を御堪能ください～

岡山後楽園では、飼育しているタンチョウを園内芝生に放す「タンチョウの園内散策」を次の日程で行いますので、お知らせします。

なお、本件については、岡山中央署記者クラブにも本日発表します。

記

1 概要

現在、後楽園では8羽のタンチョウを飼育しており、毎年秋から冬にかけて、日を決めて園内芝生に放し、広々とした庭園内を散策する優美な姿を入園者に楽しんでいただいています。

2 開催日

令和6年11月4日（月・休）
12月7日（土）、22日（日）

3 時間

10時～11時

4 場所

園内芝生

5 その他

- ・園内では係員の指示に従ってください。
- ・小雨決行ですが、荒天の場合は中止します。また、タンチョウの体調等により変更又は中止となる場合があります。この場合は、当日午前7時までに岡山後楽園ホームページでお知らせします。
- ・1月以降の予定については、別途お知らせします。

〈参考〉

後楽園では、江戸時代からタンチョウをはじめとする様々な鶴を飼育しており、「瑞鳥ずい」として大切にされてきました。終戦後一時途絶えましたが、昭和31年、岡山の旧制第六高等学校で学んだことのある中国科学院院長の郭沫若かくまつじやく氏からタンチョウ2羽が後楽園に贈られました。この2羽が岡山県下の数多くのタンチョウ飼育の礎となり、今では全国一のタンチョウ飼育県となりました（令和6年10月現在56羽、後楽園ではそのうち8羽を飼育）。